

聖マリアンナ医科大学(前期) 英語

2026年 2月 5日実施

[I]

[1]

- a) ヒトがかつて尖った犬歯を持っていた目的は、ライバルを威嚇したり自己防衛をしたりするためだったと考えられている。
 - b) 現在までにヒトの犬歯は次第に小さくなったが、それは、我々の祖先が互いに協力し合う集団で生活するようになり、防衛的な特徴の必要性が減少したからである。
- [2] そもそも、バンパイアが実在するとして、ヒトは犬歯が発達していないため、皮膚を歯で噛んで血を吸うということが最初の困難となるということ。
- [3] バンパイアが実在するとして、ヒトは栄養価やビタミン類やミネラルを欠いた血液を消化できる消化器官を持ち合わせていないため栄養失調に苦しむであろうし、血液中の鉄分が人体の健康にとって有害であるということ。(100 字)

[4] b

[5] b, d

[解説]

歯や消化器官などの人体の構造からみて、バンパイアは実在しうるかについて分析した興味深い文章である。

- [1] a) 下線部(A)のおおよその意味は、「我々の祖先は、今日のゴリラなどの霊長類同様に、尖った犬歯を持っていた」ということである。その(犬歯を持っていた)目的については、下線部(A)の次の段落で説明されており、threatening rivals and self-defenseのためであった可能性が高いと述べられている。
- b) 現在の状況については、these teeth grew smaller「次第に小さくなった」、その理由としては、evolved to live in cooperative groups「互いに協力し合う集団内で生活するように進化した」からであると説明されている。
- [2] 下線部(B)において、the first challenge = getting blood from victims、つまり「餌食から生き血を吸うこと」＝「最初の困難」であるということである。理由としては、前問でも述べたように、ヒトは犬歯が小さくなったため、バンパイアがヒトや動物の皮膚を噛んで生き血を吸うということはそもそも困難と思われるからである。もちろん、バンパイアについてあまりなじみがない受験生も、第3段落において、In popular media, vampires bite the skin to drink blood using knifelike upper canine teethと説明されており、生き血を吸うバンパイアというイメージを持つことは可能だろう。
- [3] 下線部(C)の大意は、仮にバンパイアが実在するしても、poor nutrition「栄養失調」やcertain toxic effects「ある種の毒害」に苦しむだろうということである。具体的には、栄養面については、下線部直後の段落において説明されており、血液はビタミン類などを欠いていること、また、ヒトの消化器官が血液を消化するようには進化してきていないことが説明されている。また、さらに次の段落において、血液に含有される鉄分が人体にとってはtoxicなものになりうると説明されている。つまり、これら2つの点を説

明に盛り込めばよいだろう。

- [4] 「この現実」は、映画ファンがバンパイアを楽しむことを止めはしない」とあること、またここまでの本文で、[2]・[3]でまとめたような理由によりバンパイアのような生命体がいかに非現実的であるかを論じてきていることから、(b)「ある種の食習慣を変えるには、長期にわたる複雑な生物学的プロセスが必要となるという事実」が正しい。
- [5] (a) [4]でも触れた通り、バンパイアが存在が非現実的だからと言ってそれを物語化することまでは妨げられていないため、誤り。
- (b) 第 5 段落第 3～4 文に合致。げっ歯類は前歯が成長し続けるため、適宜歯を研がないと食べるのに支障をきたしてしまうと述べられている。
- (c) 第 7 段落第 2 文に “with an occasional helping of meat” とあることに矛盾する。occasional = 「時々の」であるから、肉を植物と同量食べていたわけではなく、肉 < 植物のはずである。
- (d) 第 9 段落第 2 文に合致。チスイコウモリ (vampire bat) は、腸での過剰な鉄分の吸収を妨げる遺伝子を欠いていることが述べられている。
- (e) 第 4 段落最終文に矛盾。チスイコウモリの前歯にはエナメルがないと述べられている。

[II]

1. a 2. c 3. a
4. (A) a (B) b (C) d (D) b (E) d
5. d 6. a

[解説]

- 下線部の that question は、第 1 段落第 3 文の But how exactly did they manage to complete such a difficult voyage? を指している。同段落第 2 文に、the Pacific Ocean's powerful Kuroshio currents とあるので、選択肢とも整合する。
- 第 3 段落第 3 文に、archeological evidence such as remains and artifacts cannot provide a complete picture, since the sea tends to wash such items away. とある。
- 第 4 段落第 1 文に、(d) types of boats についての言及がある。同段落第 4 文に、(c) Seasons for departure, (b) Location of departure, (e) Ways of paddling の順番で言及が確認できる。したがって、(a) Construction tools を選ぶことになる。
- 本文の内容をもちろんのこと、要約文の空所に入れるのに、動詞の語法なども考慮しながら解答を作る必要がある。
(A) 目的語に that S V ...を取り、本文の内容に合うのは、(a) demonstrated。
(B) 空所の後ろの crossing the strait につながり、本文の内容に合うのは、(b) capable of。
(C) 目的語が such crossings であることを考慮し、本文の内容に合うのは、(d) navigate。

(D) 目的語が **researchers' expectations** であることを考慮し、本文の内容に合うのは、**(b) exceeding**。なお、空所以降は分詞構文になっている。

(E) 目的語が **a return voyage for those ancient sailors** であることを考慮し、本文の内容に合うのは、**(d) prevented**。

5. 第 4 段落は、日本人の研究者たちがシミュレーションを用いて、丸木舟を再現している様子が描かれている。続く第 5 段落には、実際の結果が述べられている。したがって、[え] に入れるのが適切である。
6. 下線部は、... **makes this work truly rewarding** となっている **make O C** の目的語の位置にあることを踏まえ、**(a) How ancient people navigated the powerful Kuroshio currents** を選ぶ。

[Ⅲ]

1. third : e, fifth : a (c→g→e→b→a→f→i→d→h)
2. c
3. (1) b (2) a (3) c (4) a (5) d (6) b

[解説]

1. **it allows people to connect in a deeper way**
in a 形容詞 way は、英作文でも頻出のフレーズ。副詞を使わないで逃げるための常套手段。deeply ではなく、in a deeper way というわけだ。allow O to do ... も重要表現。
2. 下線部の直訳は、「人々が理解されていると感じる時」である。最も近いのは、c しかない。
3. (1) 傾聴の重要性を述べている。してはいけないのは、介入することしかなかろう。
(2) 他人の観点で考えると言う趣旨。自分の賛否はどうでもよい。
(3) 他人の観点で考える、と言う内容。また、空所の後に、**This habit** の指示語からも考えられるだろう。
(4) 理解を示す言葉の重要性を述べている。「求められてなければ、アドバイスするな」が適切。
(5) 一文目から「よく使用すると共感が増す」とあり、第二文以降も同一趣旨の発言となっている。段落のまとめだと考えればよい。共通テスト第 4 問を彷彿とさせる。
(6) like ... a friend までの挿入句を飛ばせば、空所には **can make** に対する主語、つまり名詞しか入らないとわかる。

【総評】

例年通りの 3 題構成。長文 2 本（記述式＋選択式）の分量は平年並み、難易度は平易だった昨年度に比べてもかなり抑えめ。大問 1 は 5 問中 2 問が選択式問題となり、昨年度までと比べて記述量も減少した。大問 3 は一昨年度まで、与えられたシチュエーションに対応

する英文として正しいものを選ぶ、会話文問題の亜種のようなものが出題されていたが、本年度は昨年度と同じテイストの小読解問題が踏襲された。その中で 1 問だけ語句整序問題が出題されたのが、唯一目立った新傾向か。昨年度に続き易化傾向にあると言えよう。一次通過ラインは 75～80%程度か。

昭和医科大学医学部Ⅱ期模試 2026.2.23^(月)

科目 英／数／化／生／物 **申込締切** 2月19日（木）15:00
会場 東京／大阪／福岡

聖マリアンナ医科大学[後期]模試 2026.2.18^(水)

科目 英／数／化／生／物 **申込締切** 2月14日（土）15:00
会場 東京／大阪／福岡

料金 8,800円（税込）



※内容は変更になる場合がございます。最新の情報はホームページよりご確認ください。↑

医大別直前講習会 2025-2026

後期・Ⅱ期

- 獨協医科大学
- 聖マリアンナ医科大学
- 日本大学
- 埼玉医科大学
- 昭和医科大学
- 日本医科大学



◆各講座の時間割・受講料・会場についてはHPでご確認ください。↑

本解答速報の内容に関するお問合せは



☎ 03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>
 東京都渋谷区代々木 1-37-14

医学部進学予備校 **メビオ** ☎ 0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校 **英進館メビオ** ☎ 0120-192-215
 福岡校 <https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録



LINE 登録



26 年度解答速報はメルマガ登録または LINE 友だち追加で全科目を閲覧